
【詩集】かざはな

布袋しぐれ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【詩集】かざはな

【Nコード】

N4936BA

【作者名】

布袋しぐれ

【あらすじ】

布袋しぐれ、詩集第四弾。お待たせしました。まだまだ続きます。徒然なるまま、布袋の思うこと――・・・悲しみも嬉しさもそつと詩に綴って流してしまいましょ。今回も詩の御題は、生まれの季語から拝借しました。

喪失感

善と悪

わかんないもの

いっぱい蔓延ってる

誰が悪いの

何をしたの

私は唯一の悪人

疎まれるべき存在だって

昨日まで口利いた

あのクラスメイトすら

しらんぷり

ふざけないでよ

怒りも通り越して

なんだか

悲しくなってくるよ

3年も一緒だったのにね

私だけ

仲間じゃなかったんだね

フルーツバスケット

それに永遠に混ざれない

まるで豆腐みたいに

仲間はずれが存在

私だけ
異常で
私だけ
悪人で

そんなの可笑しいのに
怒りより
受け止めてくれない
その冷酷さが
寂しいよ

こびりついた

悲しく耳に

こびりついた

あの音楽は

今日もまた

鼓膜を打ち鳴らすみたいに

鼓膜に焼き付けて

決して離れないようにするみたいに

必死に縋る

聖職者の

まるで聖書のように

まるで必死に求める

解放の呪文みたいに

欲するただひとつの

その”優しさ”に

冷たさの無い

優しくて

生ぬるい世界で生きていけたらって

外の寒さ以上に

人の冷たさは

心にこたう

寂しい人間

人間ってこんな生き物なんだね

こっそり消えちゃおうか

寂しくなってきたから

真っ黒な地面

私にはお似合いかもしれない

けれど

この命を終える瞬間

ただ

あなたの顔を見ていたかった

重い荷物ばかり

背負わせてごめんね

ばいばい

好きだった

光のあなた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4936ba/>

【詩集】かざはな

2012年1月13日18時45分発行